

第27回 特別対談企画

「歩歩是道場」。日々のすべてを

自分を磨き、経営を磨くきっかけに

枅野俊明氏

曹洞宗 徳雄山建功寺住職／庭園デザイナー／多摩美術大学環境デザイン学科教授

真宗王国と呼ばれるほど、石川県は今も浄土真宗が盛んな地域ですが、室町期に同宗派が当地で拡大する以前、鎌倉期に加賀・能登で先に根を張ったのは曹洞宗でした。本紙読者の皆様の中でも案外、自分の家は曹洞宗という方は少なくないはずですが。

今回は、神奈川県横浜市にある曹洞宗の寺院、徳雄山建功寺を訪ね、ご住職を務める枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野さんには、いくつかの禪の言葉を紐解いていただきながら、経営者があるべき姿のヒントをたくさんいただきました。知的で含蓄ある言葉の数々に、私も「なるほど」と頷くことの多い対談となりました。

読者の皆様が経営者として、また一人の人間として、自身を磨いていく上で参考になる内容かと思えます。なんらかのきっかけにしていただければ幸いです。

恵まれた 恩師との出会い

枅野 二住職は著名な庭園デザイナーとしての横顔も持ち、多摩美術大学環境デザイン学科の教授も務められています。さかのぼると、玉川大学農学部で学ばれていて、かなり異色の経歴です。



私どもの庫裡と客殿を建て直そうという話がお檀家さんから持ち上がり、庭もできる範囲で整備をしたらしいのではないかとなった際、「ご縁があつてお願いしたのが斉藤先生でした。」

異色中の異色でしょうね（笑）。私が小学校高学年の時に、先代住職である父と母に連れられて京都に行く機会があり、龍安寺さんや大徳寺塔頭の大仙院さんに伺い、あまりにもきれいな庭にびっくりしました。そこで、お寺というのが、こういう美しいものがなければいけない。将来、私どもの寺にも兼ね備えられるようになったらいいなという漠然たる夢を持ったのがきっかけです。

枅野 そうです。その後、地元の公立の中学に入ったのですが、たまたま中学二年時の担任の先生が、玉川大学の教育学部の卒業生で、私がこういうことに興味があつて、好きなのだと、このことを知って、「お

少年期に萌芽があつたわけですね。 枅野 そうですね。その後、地元の公立の中学に入ったのですが、たまたま中学二年時の担任の先生が、玉川大学の教育学部の卒業生で、私がこういうことに興味があつて、好きなのだと、このことを知って、「お

少年期に萌芽があつたわけですね。 枅野 そうです。その後、地元の公立の中学に入ったのですが、たまたま中学二年時の担任の先生が、玉川大学の教育学部の卒業生で、私がこういうことに興味があつて、好きなのだと、このことを知って、「お

削ぎ落として 真理を露わに

生まれ育つた建功寺が禅宗のお寺だったということも関係して、そうなんです。

枅野 昔、禪では修行として会得した自分の心の状態を何らかの手法で表現しようとしてしまっているかと思ひました。そして、先生の指導のもとで、工事が進んでいくと、スケッチの通りになってくる。これは面白いなと。そこからですね、本当の意味で虜になったのは、

大学時代の春休みや夏休み、冬休み、お寺の忙しい時期に足しげく斉藤先生と一緒にご一緒して、プロジェクトに参加させていただく、それをずっとやっています。

枅野 やはり関連性はあるのですね。ものすごく大きいです。禪の美意識は、ものを削いで、削いで、削ぎ落とす。削ぎ落とすことによって、一番大事な真理というものが露わになって、輝いてくる。そういうものを感じられる空間をつくらうということ、禪の庭が生まれました。



枅野 ものすごく大きいです。禪の美意識は、ものを削いで、削いで、削ぎ落とす。削ぎ落とすことによって、一番大事な真理というものが露わになって、輝いてくる。そういうものを感じられる空間をつくらうということ、禪の庭が生まれました。

もう一人の自分に 問い続ける

経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うと、

① 自分の仕事の魂の部分、次の時代につないでいく。 ② 自分の仕事の悪い方を問われているのかを問いつつ、自分でいいのを問いつつ、削ぎ落としていく。 ③ 自社の事業が、世の中に役に立っているのかを問いつつ、削ぎ落としていく。

枅野 そうして、そのために経営者自身は何をしなければいけないかというところ、会社を磨く、自分の仕事を磨く、自分自身を磨く、この三つです。

枅野 これは結局、経営者の生き方が反映される部分かと思ひます。削ぎ落とすことによって、一番大事な真理というものが露わになって、輝いてくる。そういうものを感じられる空間をつくらうということ、禪の庭が生まれました。

枅野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うと、

をやるうとしていていいのかわからないことを、静かに坐って問い続けること、これが坐禅の「坐」です。

枅野 そうですね。坐禅は、静かに坐って問い続けること、これが坐禅の「坐」です。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

高祖・道元禅師 太祖・瑩山禅師

枅野 二住職が斉藤勝雄さんに出会われたように、そういう出会いがあれば、生き方が職業観も変わってくるのではないのでしょうか。

枅野 ええ、そう思います。少し禅宗に関する質問をさせていただきます。曹洞宗と臨済宗、黄檗宗の三つが禅宗としてよく知られていますが、そのルーツや相違点について教えてください。

枅野 曹洞宗と臨済宗、黄檗宗の三つが禅宗としてよく知られていますが、そのルーツや相違点について教えてください。

枅野 曹洞宗と臨済宗、黄檗宗の三つが禅宗としてよく知られていますが、そのルーツや相違点について教えてください。

枅野 曹洞宗と臨済宗、黄檗宗の三つが禅宗としてよく知られていますが、そのルーツや相違点について教えてください。

「経営」とは 真理を営むこと

枅野 はい。知らない方が多いと思いますが、実は仏教用語です。もともと経営の「経」という字は、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。

枅野 はい。知らない方が多いと思いますが、実は仏教用語です。もともと経営の「経」という字は、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。

枅野 はい。知らない方が多いと思いますが、実は仏教用語です。もともと経営の「経」という字は、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。

枅野 はい。知らない方が多いと思いますが、実は仏教用語です。もともと経営の「経」という字は、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。

枅野 はい。知らない方が多いと思いますが、実は仏教用語です。もともと経営の「経」という字は、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。「経」というのは、お経の「経」です。



崑経営グループ 会長

崑善昭

枅野 俊明

枅野 俊明

ますの・しゅんみょう。1953(昭和28)年神奈川県横浜市生まれ。玉川大学農学部農学科卒業後、大本山總持寺にて雲水として修行。1985(昭和60)年に徳雄山建功寺副住職、2001(平成13)年に同寺第18世住職に。また、造園家の齊藤勝雄氏に師事し、庭園デザイナーとしても活躍。代表作に水戸・祇園寺庭園、東京・カナダ大使館など。1998(平成10)年から多摩美術大学環境デザイン学科教授も務める。『禅が教えてくれる 美しい人をつくる「所作」の基本』(幻冬舎)、『美しく、心地よく、生きる』(PHP文庫)など著書多数。

枅野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うと、

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

枅野 今回の対談は、経営者としての枅野俊明さんにお会いしました。枅野さんは僧侶としてのお勤めの傍ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。